



なつめ 5月号

〈編集・発行〉
鹿児島市立喜入小学校
〈発行日〉
令和4年5月23日

再考：「聞く」という学び方

校長 内村 英人

日本の教室では、子どもが他の子どもから学ぶことや自分の間違いを分析することは、学習を促進するものとして尊重されることが多い。また、日本の子どもは、人の話を聞くことを大切なことだと考えているので、たとえ議論に参加する機会が少なくても、他者の意見を聞くだけで多くのことを学ぶことができる。

一方、米国の教室文化は、日本とは対照的で、正解を答えることや積極的に発言することが重視されている。したがって、この文化の違いを考慮せずに日本の教授技術を導入しても、よい結果は生じないであろう。

「授業を変える」(米国学術研究推進協議会 編著 2002年)より

これは、21世紀において大切な学びについて論じた文献「授業を変える～認知心理学のさらなる挑戦」に記載されていた日本の学習環境についての記述です。今から20年ほど前までは、日本の教室における「聞く」という学び方は、一定の評価を受けていたのです。それから20年の時を経た今、日本の教室文化でもあった「聞く」という学び方は、子どもたちに受け継がれているのでしょうか。私は、大きな課題の一つになっていると思っています。

この課題は、子どもの社会性の発達における課題とも関連していると思います。「聞く」という行為を学びという視点から考えると、他者から何かを学ぼうとする他者への好奇心や他者の思いや考えを理解しようとする寄り添う心があることが大切になります。その心があれば、聞くことによって知った他者との違いは、新たな学びを生み出すきっかけになります。

しかし、他者を論破するため、あるいは、自己主張を完遂するため、他者への優位性をつくるため、といったことのみが目標である場合、「聞く」という行為は、論破するための材料を得るための行為であって、建設的な議論とはなりにくく、「あいつから得られるものは何もない。聞くだけ損だ。」という結論が生み出されることもしばしばです。そうすると、誰かの話を聞いてもつまらないし、そんな時間があれば自分の好きなことをした方がましだという考え方が強くなります。結果、他者の話は、本当につまらなく、役に立たないものになります。「聞いてもおもしろくない」という状況をつくりだしているのは、実は、聞く側に原因があることが少なくありません。もちろん、話す側が、興味深く聞くことができる話をする 것도大切ですが、「話す」と「聞く」は、双方の共同作業です。この協働作業が、以前と比べて減り、また、異質なものになっていることの要因の一つが、ネット社会であると考えられます。私たち大人と今の子どもたちの大きな違いの一つは、今の子どもたちは、生まれた時からネット社会で生きているということです。

ところで、人と人との親密さを表現しようとする行動を愛着行動と言います。子どもが、社会的、精神的発達を正常に行うためには、親密な関係を維持できる存在が必要であるという愛着理論の考えから言えば、自分の話を傾聴し共感してくれる人がいると確信できていれば、外の世界でショックを受けるようなことがあっても、大丈夫だと思えることができます。そして、そのような聞き手がいる環境で育つことによって、社会生活や学習において、「聞く」ことの大切さが認識されていき、よい聞き手、よい話し手となる未来を約束していくことになるのではないかと思います。

喜入小は、本年度より「コミュニティスクール」(学校運営協議会を設置した学校)となりました。

PTA 総会で紹介があったとおり、本年度から喜入小は「コミュニティスクール」となりました。

そして、4月21日(木)第1回学校運営協議会を行いました。学校運営協議会には9人の運営協議会委員と校長、教頭、教職員代表の3人を加えた12人が参加します。この運営協議会の設置によって、「地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのか」という目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子供たちを育て『地域とともにある学校』を目指しています。

第1回運営協議会では、令和4年度の喜入小学校学校運営方針について説明を行い、御意見をいただきました。また、稲作活動を中心に、地域から協力をいただいている体験活動について、教育的効果や持続可能な体制づくりを視点に話し合いを行いました。

様々な専門性を持つ運営協議会委員の方々から知恵や協力をいただき、今後もさらに充実した教育活動を目指します。

どうぞ、よろしくお願い致します。

【学校運営協議会委員(50音順)】敬称略

上之藺 俊 幸 (農業体験学習指導者)
宇 都 加寿代 (あいご有志コーディネーター)
栗 脇 哲 祥 (喜入保育園 園長)
高牟禮 陽 二 (喜入小 PTA会長)
中 釜 ひとみ (放課後児童クラブ代表)
濱 崎 隆 文 (地域有識者)
濱 田 努 (学校医)
春 田 博 明 (まちづくり協議会会長)
吉 野 剛 男 (主任児童委員)

びわ山の緊急予防治山工事がはじまりました

本年度5月より、びわ山の治山工事がはじまりました。大量の雨が降った際、地盤が緩み、びわ山の土砂が学校へ流れ込む危険性があるためです。令和2年度には、大雨により一部で土砂崩れも発生しています。

大規模な工事となるため、数年かかる見込みですが、今回は、斜面の樹木の一部伐採が工事内容となっています。

大型車が校内へ乗り入れることもあり、子どもたちの動線の安全を確保しながら工事を行います。フェンス等も設置され、何かと御不便をかけますが、御理解と御協力をよろしくお願い致します。



入賞おめでとう!! 歯と口の健康週間行事

「図画・ポスター」【佳作】2年 児童
「標語」 【銅賞】1年 児童



「水泳学習時の見守り」を募集しています!

感染症対策の視点から、プール内での密接・密集を避けるため、児童の間隔をとっての水泳学習を行います。そこで、見守りボランティアを募集しています。御協力をお願いします。詳しくは、別紙配布物をごらんください。

子どもたちの安全のために

今年も子どもたちが毎日安全に登下校できるよう、地域の皆さまにお世話になっています。

☆スクールガードリーダー 藺田 博紀さん
☆スクールガード (青パト隊)
下田 正美さん 北 清さん
藤田 俊朗さん 栗ヶ窪 秀雄さん
☆児童通学保護員 佐多 洋明さん

6月・7月の主な行事(予定)

【6月】

- 1日(水) 普通救命救急及びA&E A講習会(職員)
- 2日(木) 不審者対応訓練・学校保健委員会
- 6日(月) ~11日(土) 歯と口の健康週間
- 6日(月) ~17日(金) 読書旬間
- 7日(火) プール開き(6年)・胸部レントゲン
- 8日(水) 歯みがき大会(5年)
第1回スクールゾーン委員会
- 10日(金) 租税教室(6年)
田植え体験学習(5年)
- 11日(土) 土曜授業日、緊急引渡し訓練
- 14日(火) ~24日(金) 教育相談(全保護者)
- 16日(木) PTA理事会
- 20日(月) ~24日(金) 校内人権週間
- 22日(水) 人権教室(3年)
- 27日(月) ~1日(金) 水泳学習参観週間
- 29日(水) 発表集会(5・6年 8時30分~)
学級PTA・PTA救命講習会
- 30日(木) 眼科検診(14時)

【7月】

- 7日(木) 第2回学校運営協議会
- 14日(木) 薬物乱用防止教室(6年)
- 20日(水) 終業式
- 27日(水) 市小学校水泳記録会(6年)
- 28日(木) 市小学校水泳記録会(5年)

